

総特集

病院看護職の 介護保険入門

地域包括ケアの共通言語を身につける！

S P E C I A L F E A T U R E

「地域包括ケアの時代！ これからは病院看護職も地域のことをわかっていなければ」と言われますが、多くのみなさんは通常業務に追われ介護保険や介護保険サービスのことを学ぶ機会はなかなかないのではないのでしょうか？ そこで今回は“病院看護職のための”介護保険入門を企画しました。

制度解説では基本的な知識に加え、病院看護職としてぜひ知っておきたいポイントをまとめています。また、近年、病院でも地域のことを知るために、訪問看護ステーションや高齢者ケア施設での研修が増えていますが、すべての介護保険サービスを見て回ることは難しいと思います。そこで、2章の「報告」では、それぞれの現場の看護職に「病院看護職にはこれを知っておいてほしい！」という視点から介護保険サービスの実際を報告していただきました。

地域包括ケアに単に参加するだけでなく、ともに作り上げるために、つまり地域包括ケアに参画していくために、共通言語としての介護保険を本臨時増刊号で学んでください。

看護

臨時増刊号

2016年6月 第68巻 第8号

日本看護協会機関誌

Journal of the Japanese Nursing Association June 2016 Volume 68 / Number 8

総特集

病院看護職の介護保険入門

地域包括ケアの共通言語を身につける！

1章 地域を知る看護部長の提言

- 1-1 地域包括ケアシステムに参画するためには
まず「地域を知る」ことから…………… 伊藤 みほ子 006
- 1-2 「生活を支える」視点の看護・支援が
地域包括ケア参画のポイント…………… 平野 美理香 011
- 1-3 地域の情報・資源を有効活用し「その人らしい」生活を支援
…………… 高須 久美子・木下 明美・朝比奈 由美子 015

2章 介護保険入門

- 2-1 [解説]
介護保険基本の“き”——医療保険と何が違う？
…………… 角田 直枝・中島 由美子 022

〈介護保険サービスの種類〉

- 2-2-1 [解説] 介護の相談・ケアプラン作成
居宅介護支援(ケアマネジメント)…………… 袴田 洋子 027
- [報告 1] 居宅介護支援事業所
ともにいて、ともに考えるケアマネジメント…………… 袴田 洋子 029
- [報告 2] 地域包括支援センター
「住み慣れたまちでの暮らし」を支える地域包括ケア…………… 曾我 智子 034

2-2-2	[解説] 居宅に訪問		
	訪問介護、訪問入浴、訪問看護、訪問リハビリテーション、 夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ……	柏木 聖代	041
	[報告] 訪問看護		
	多種多様なニーズに応えられる地域の資源		
	——機能強化型訪問看護ステーションの役割 ……	佐々木 真理子	045
2-2-3	[解説] 施設に通う		
	通所介護、療養通所介護、通所リハビリテーション、 認知症対応型通所介護 ……	柏木 聖代	051
	[報告] 認知症対応型通所介護		
	通所サービスで認知症の人・家族をサポート ……	西 ケイ子	054
2-2-4	[解説] 訪問・通い・宿泊を組み合わせる		
	小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 ……	柏木 聖代	060
	[報告 1] 看護小規模多機能型居宅介護		
	訪問・通い・泊まり・看護の組み合わせで 利用者の「自立」を支援 ……	松木 満里子	062
	[報告 2] 小規模多機能型居宅介護		
	臨機応変なサービス提供で「最期まで自宅」の思いを支える ……	松井 典子	068
2-2-5	[解説] 短期間の宿泊		
	短期入所生活介護、短期入所療養介護 ……	生野 繁子	074
2-2-6	[解説] 施設等での生活		
	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、 特定施設入居者生活介護 ……	生野 繁子	076
	[報告 1] 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		
	生活を重視した認知症ケアにおいて 根拠となる医療の視点を提供 ……	岩本 由美子	079
	[報告 2] 介護老人保健施設		
	地域包括ケアにおいて老健施設が担う役割 ——在宅復帰支援の取り組み ……	菊池 富士子	085
	[報告 3] 介護付き有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)		
	“看病”を重視した施設における暮らしの看護の実践 ……	吉松 泰子	091

2-2-7	[解説] 地域に密着した小規模な施設等		
	認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、 サービス付き高齢者向け住宅	生野 繁子	096
	[報告 1] 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)など 看護職と介護職が手を結び “最期のステージ”をともに過ごす	江森 けさ子	098
	[報告 2] 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 “健康管理”をコンセプトに 地域に向けて発信のできる特養をめざす	福本 美津子	104
	[報告 3] サービス付き高齢者向け住宅(高齢者住まい法による施設)など 地域での療養を支えるために看護職同士も 積極的な連携を	佐塚 みさ子	109

3章 地域包括ケアのトピックス

3-1	病院看護職が知っておくべき「地域ケア会議」の設置と 「地域支援事業」の再編	安藤 智子	116
3-2	2018年度ダブル改定に向けて ——在宅医療・訪問看護からみた論点	佐藤 美穂子	125

1-1

地域包括ケアシステムに 参画するためには まず「地域を知る」ことから



伊藤 みほ子

日本赤十字社下伊那赤十字病院
看護部長

下伊那赤十字病院では、地域包括支援センターと連携して地域住民の認知症予防に取り組んでいます。訪問看護の経験などを経て、現在は看護部長を務める伊藤みほ子さんに、病院看護師が「地域包括ケアシステム」の中で果たす役割について、解説いただきます。

2000年に介護保険制度がスタートし、16年がたちます。私も2000年から療養型病棟の看護師、ケアマネジャー(介護支援専門員)、訪問看護師として介護保険制度とかわり、その経験は「地域を知る」機会となっており、「生活の中にある療養者・家族を支える」とはどのようなことを学ぶことができました。この「学び」は私の管理・看護観に「ぶれない」軸を与えてくれたと思っています。以下に挙げた3つの学びは、勤務場所が変わっても常に心に留め、口にしてきたことです。

学び1: 患者・家族の思いを傾聴する

→信頼関係を築く初めの一歩である。

学び2: 介護者である家族の思いは変化する

→はじめは「この状態では退院しても介護できない」と言っていたとしても、看護師の支援

(コミュニケーション)によって家族の気持ちを変えることができる。

学び3: 「いつでもご相談ください」「おまかせください」と言える看護師であること

→地域のケアマネジャー、地域包括支援センターと困難な事例を一緒に検討する。病院として支援できることは何か考える。

地域包括支援センター・ ケアマネジャーとの連携

2014年から現職となり、下伊那赤十字病院の方針の1つである「地域包括ケアシステム構築に向けた病院の役割を果たす」ことを目標に、看護部では看護師としての役割を果たすための取り組みを計画・実践してきました。この実践は看護師が「地域を知る」貴重な機会となりました。2014～2015年の看護部における取り組みを紹介します。

1. 地域包括支援センターとの連携

長野県は長寿県といわれ、元気に長生きする工夫を生活の中に取り入れてきた長い歴史がありま

【表1】コミュニティ・カフェへの看護師等派遣内容
(2014～2015年度)

内容	2014年度	2015年度
○認知症機能検査・ 運動機能測定の実 施と結果説明	派遣回数：48回 派遣人数：77人	派遣回数：63回 派遣人数：83人
○認知症予防の取り 組み指導、口腔ケ ア、飲み込み・排 泄・感染予防のは なし	参加人数：461人	参加人数：982人
○医師による講演		

す。当院は、「健康を自分で考え守る」という健康に関する地域住民の意識が高い松川町にあり、30年以上前から町が取り組んでいる「健康を考える会」「福祉を考える会」に参加してきました。

地域包括ケアシステムの構築は市区町村の責務であり、その構築に向け「地域包括支援センター」は中心的役割を担っています。地域包括支援センターとの連携では、入院患者が退院困難となっている事例（行政の力を借りないと解決できない問題があるなど）を相談したり、逆に地域包括支援センターで困難となっている事例の相談を受けたりして、一緒に考え解決してきました。入院しているときは病院、退院したら地域と場所が変わっても、患者にとって困難となっている要因が変わるものではありません。だからこそ、多職種で検討していくことが必要となり、今では「地域ケア会議」（116～120ページ参照）がその役割を果たしています。

このような連携を重ねていくことが、病院やそこで働く看護師にとって地域包括支援センターを身近な存在にしていくのだと思います。連携の中から、地域包括ケアシステム全体の課題である「認知症予防」への取り組みが、当地域でも課題となっ

【写真1】摂食・嚥下認定看護師派遣の様子



ていることを知りました。そこで、当院がその課題と一緒に取り組むことができないか検討し、松川町と委託契約を結んで、以下のような事業に参画してきました。

1) 委託事業 1 (2014年度)

介護予防事業・通所型デイサービス「コミュニティ・カフェ」（介護認定を受けていない65歳以上を対象としたデイサービス）に、看護師を派遣（表1）。町からの依頼は、デイサービスでの「日赤健康相談室」の開設でした。ここでは、認知症機能検査「ファイブ・コグ」*1と運動機能測定の実施・説明を行い、保健師を中心に毎月の予防プログラムの内容を考え、月3～4回、60～90分担当しました。また認定看護師を派遣し口腔ケア、嚥下・排泄・感染予防について説明・啓発を行い（写真1）、医師による講演も実施しました。

2) 委託事業 2 (2015年度～)

2014年度の取り組みから、もっと多くの地域住民の方に認知症予防についての知識を広めていくことが必要と感じ、地域包括支援センターと話し合いを重ねました。その結果、2015年9月より、「認知症初期集中支援チーム」「認知症地域支援推進員」を院内に設置することとなりました。

*1 軽度認知障害の時期に低下する記憶・注意・思考の認知機能の状態を評価するために、東京都老人総合研究所で開発された集団認知機能検査

看護 臨時増刊号

6 June
2016

Volume 68 Number 8

日本看護協会 機関誌
Journal of the Japanese Nursing Association

発行・発売 2016年6月5日

発行所 株式会社日本看護協会出版会

東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4階

Tel. 0436-23-3271 (コールセンター：ご注文)

振替 00190-8-168557

東京都文京区関口2-3-1

Tel. 03-5319-8017 (編集直通)

発行人 井部俊子

編集 濱田拓男／遊佐なつみ

編集協力 株式会社自由工房

編集委員 井伊久美子／和田幸恵／長田晋一／伊藤雄介(日本看護協会)

表紙デザイン 新井田清輝

表紙イラスト 平出紗英子

印刷 三報社印刷株式会社

定価 本体1,800円+税